

新しい評価の観点について

今回の改訂で、学習状況の評価が4観点から3観点になりました。

◆ 教科の評価

知識・技能

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価するものです。

思考・判断・表現

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

主体的に学習に取り組む態度

知識及び技能や思考力・判断力・表現力等を身に付けるために、粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しながら学んだりしているかを評価します。

観点別学習状況の評価の見方

通信票では、観点別学習状況を次のように評価します。

- 「十分満足できる」状況と判断されるもの …………… A(◎)
- 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの …… B(○)
- 「努力を要する」状況と判断されるもの …………… C(空欄)

※A・B・Cは中学校 ◎・○・空欄は小学校

◆ 教科以外の評価

「特別の教科 道徳」「外国語活動」(小学校第3・4学年)「総合的な学習の時間」(小学校第3学年以上)については、学習指導要領に示す目標を踏まえ、文章の記述による評価を行います。

観点別学習状況の評価及び評定の例

◆ 単元(題材)の学習状況を踏まえた評価の例

各教科等で単元(題材)の目標や評価の規準を基に、評価場面を設定して評価します。

(小学校の例)

観点	各単元の学習状況				学期ごとの観点別学習状況の評価
	かけ算	たし算とひき算の筆算	棒グラフと表	わり算	
知識・技能	○	◎		○	○
思考・判断・表現	◎	◎	○	◎	◎
主体的に学習に取り組む態度	◎	◎	○	◎	◎

総合的に判断して

(中学校の例)

観点	各単元の学習状況			学期ごとの観点別学習状況の評価
	式と計算	連立方程式	一次関数	
知識・技能	B	B	B	B
思考・判断・表現	B	B	C	B
主体的に学習に取り組む態度	A	A	B	A

総合的に判断して

◆ 観点別学習状況の評価から評定へ

学習の実現状況を小学校第3学年から第6学年では3段階、中学校では5段階で評定します。



(観点別評価から評定へ総括する際の例)

観点別評価	評定(小学校)	評定(中学校)
AAA	3	5
AAB		5または4
ABB		4または3
AAC	2	3
ABC		
BBB		
BBC		
ACC	2または1	2
BCC		
CCC		

※小学校ではA=◎, B=○, C=空欄

評定の見方

小学校	3: たいへんよい
	2: よい
	1: 努力しよう
中学校	5: 十分満足 (特に程度が高い)
	4: 十分満足
	3: おおむね満足
	2: 努力を要する
	1: 一層努力を要する